



区から防災の視点を含めた全体まちづくりの検討を行い、まちづくりを進めていくことを提案しました

〈全体まちづくり検討会の様子〉

平成26年8月28日(木)午後7時から、第11回全体まちづくり検討会を開催し、21名の方々にご参加いただきました。

検討会では、各協議体からパームス協議会との意見交換会を踏まえた、まちづくりの方針、要望の発表がありました。また区からは、防災の視点など、現在のC地区全体で考えたまちづくり構想素案の更新を検討するよう呼びかけました。



### ◆ 意見交換会の結果と方針について (各協議体から)

- ・パームス協議会との意見交換は非常に有意義なものであった。C1地区は防災面からも早期の事業開始を希望している。(C1準備組合)
- ・パームス協議会とは意見交換会だけでなく勉強会も行ってきた。パームス協議会が当地区と一緒に事業を行う意向が示されれば、受け入れることを検討する用意がある。方針としては、まちづくりは地区全体で検討し、事業は各地区で進めていくものと考えている。(C2準備組合)
- ・意見交換会は大きなまちづくりという点で共通の認識が得られ、有意義なものであった。方針としては、地権者の選択が増え、価値のあるよいまちづくりを以前から希望していることに変わりない。(南ゾーン協議会)
- ・各協議体との意見交換は有意義なものであった。C2地区とは本格的な合流を検討しており、9月中には正式にC2地区への合流を決定したい  
(パームス協議会)

## ◆まちづくりへの要望について（各協議体）から

- ・ まちづくり構想素案の更新、建築計画に必要な基本的な条件の整備、地区全体で整合のとれた歩行者・自動車ネットワークの検討を地区全体で行っていくことを要望したい。（C1準備組合）。
- ・ C地区全体のまちづくりとして、道路や広場等の公共施設やその他利便施設等の配置について、全体まちづくり検討会で検討するようにしてほしい。（C2準備組合）
- ・ 防災面からも安心して住み続けられ、住む価値のあるより良いまちづくりを検討していくことを希望する。（南ゾーン協議会）
- ・ C地区全体が魅力あるまちになることが大切、子育て世代やファミリー層にやさしいまちづくりになるようにしてほしい。（パームス協議会）

## ◆参加者のその他ご意見

- 再び、C1地区、南ゾーンとの統合について検討すれば時間がかかってしまう。区はまちづくりのスケジュールについてどう考えているのか（C2地権者）
- 豊島区はどうして区域の再編成に拘るのか。本当にやるべきなのは地区全体としてのまちづくりに必要な事項を検討していくことである。（C1地権者）
- パームスとC2地区が統合を検討する動きを大きな波として、区域の再編成を検討したい。動きが出れば態度を保留している地権者にも波及し、結果的に事業が早くなることもある。（南ゾーン地権者）

（豊島区）

- 区もまちづくりに時間をかけることを望んでおらず、なるべく早くC地区の街並みの方向性を進めていきたい。事業そのものが段階的に進むことを否定するものではない。
- 現在のまちづくり構想素案は東日本大震災前に作られたため、その経験から必要とされる防災面の視点が足りない。C地区全体として考えるべきことを構想素案の更新の形で検討して欲しい。まちづくりの検討を進める中でその実現のためにどのような事業区域が良いのかについて検討することもあるかと考えている。

## 次回

次回のC地区全体まちづくり検討会は、平成26年10月の開催を予定しています。ご案内につきましては、別途お知らせいたします。

全体検討会は、C地区の全地権者を対象とした自由な意見交換の場ですので、今までご参加いただけなかった地権者の方も含めて、皆様のご参加をお待ちしています。

